

山之口中学校だより

平成30年6月28日
校長 深江 祐史

新年度が始まって3ヶ月が過ぎようとしています。一学期もいよいよ残り約3週間、期末テストも終わり、油断するとだらけてしまう頃ですが、こういうときこそリズムある生活が大切です。自分で自分の生活をコントロールできるよう頑張ってみましょう。

1 都城地区中学校総合体育大会お疲れさまでした。

6月9日（土）から12日（火）まで、途中雨天による順延もありましたが、中体連主催の大きな行事で、3年生にとって最後の大会となる都城地区総合体育大会が大きな事故等もなく無事終了しました。各競技熱戦が繰り広げられ、本校の生徒も最後まであきらめず精一杯頑張りました。

【軟式野球】惜敗（1-4 山田）	【サッカー】惜敗（1-3 祝吉）
【バレーボール（男子）】惜敗（0-2 三股、0-2 沖水）	
【バレーボール（女子）】3位（2-0 姫城、2-0 五十市、2-0 祝吉、1-2 西、2-1 小松原）	
【ソフトボール】3位（2-9 三股、1-8 祝吉、9-6 西、10-0 高城）	
【剣道（男子個人戦）】惜敗	【柔道（男子個人戦90kg超級）】2位
【バドミントン（男子シングルス）】4位	【バドミントン（女子シングルス）】2位
【ソフトテニス（男子団体）】3位（0-3 庄内、2-1 中郷、2-0 高崎、0-2 高城、0-2 三股）	
【ソフトテニス（女子団体）】惜敗（1-2 祝吉、1-2 庄内、1-2 高城）	
【ソフトテニス（男子個人）】ベスト8	【ソフトテニス（女子個人）】惜敗
【陸上】女子100m、200m 惜敗	【水泳】男子100m自由形7位 200m自由形5位 (___は、7月14日から宮崎市内及び周辺で開催される県大会に出場)

私は女子ソフトボール競技の会長だったのですが、開会式の中で、大会に参加した選手全員に対して、「アメリカンフットボールのニュースをとても残念に悔しく思っている人たちは多い。スポーツの、そしてソフトボール競技のすばらしさをこの大会で君たちにぜひ表現してほしい」とのお願いをしました。はたして子供たちは、大会の中で、笑顔あり、涙あり、どのチームもフェアで最後まであきらめないすばらしいプレーを見せてくれました。子どもたちの必死な姿を近くで見て、これが多くの大人が魅了される「子どもの魅力」だと感じたしだいです。

また、校内においても山之口中の子どもたちの優しさを感じる場面がありました。大会の約一週間前から生徒会の企画により、校内の掲示板に中総体に挑む一人一人の決意が書かれた付箋が貼り出されました。また大会に出場しない生徒についても、最後の大会に向けて挑む3年生への応援メッセージが張り出されました。誰がそのコメントを書いたのか記名もありました。生徒会のすばらしい企画に感心するとともに、これが、本日まで、ひとつの落書きやいたずら等がなかったこと、これも私がうれしく感じたことでした。

生徒によっては、中総体に対して複雑な思いを持っていた者もいたと思うのですが、最後の大会に向けて頑張る3年生の姿を見て、本当に応援したいと思ってくれた証拠だと私は思っています。これまで山之口中生の「人としての優しさ」を感じる場面は多々あったのですが、改めて「心があるなあ」「魅力的だなあ」と思ったしだいです。勝敗はともかく、部活動生にも学校外活動で頑張る生徒にとってもよい中総体だったと思います。

さあ、つぎは吹奏楽部の番ですね。自分たちの音楽を大ホールでしっかり表現できるよう頑張ってください。たくさん的人が応援しています。

2 職場体験学習がありました。

6月19日（火）20日（水）2日間、2年生が職場体験学習を行いました。学校ではなかなか学べないことを実社会で身をもって学ぶことができました。私もいくつかの事業所の方とお話をさせていただきましたが、これから社会を担う若者に対する期待、熱い想いを感じることができました。2年生の皆さん、世の中で働く意義、厳しさについて学ぶことができたでしょうか。ぜひ、これから進路選択に生かしてください。今回、ご協力いただきました事業所の皆さん、2日間本当にありがとうございました。

【ご協力いただいた事業所等】

山之口ふもと保育所	宮崎高砂工業株式会社	双信パワーテック株式会社	パシオ山之口店	
山之口中央保育所	ぱーま屋金太郎	大岐医院	志々目医院	山之口小学校
山之口総合支所	山之口郵便局	心フォニー・山之口	有限会社中村牧場	
えのきリフォーム	安楽地保育園	HAIR PLATZ	めんくい	パットワード都城店
イオパット都城駅前店	祝古屋	アベイル都城	MiLO Hair Design Factory	
菓子工房クルール	都城消防局北消防署	お菓子のながくら	都城市立図書館	

3 家庭教育学級がありました。

6月7日（木）午後7時より第一回家庭教育学級が開催されました。開級あいさつの後、「携帯電話やインターネットと親の対応」と題して「みやざき家庭教育サポートプログラム」トレーナーによるワークショップ形式の研修が行われました。グループに分かれて各家庭の現状や悩み、親の対応のあり方について自由な意見交換がありました。

先日は、スマホのオンラインゲームなどに過度に依存する「ゲーム障害」が世界保健機関（WHO）の新たな疾病に追加された旨のニュースもありました。依存するのは未成年者が多く、寝食を忘れて没頭し、家族に暴力を振るう例も報告されています。変化の激しい世の中です。大人も含めてネット社会との上手なつき合い方は、避けては通れない重要な課題だと感じています。

なお、以下は、家庭教育学級のあいさつの中で紹介させていただいた記事です。子を思う親の姿は偉大であり、私もこれまで多くの保護者の姿に学ばされてきました。

子育て中は泥だらけのタンチョウ 美しさはその内面にある

タンチョウのヒナは6月に孵化して8月の中旬から9月の第1週くらいに飛べるようになります。約2ヶ月半、飛べないんですけど、その間は親も飛べません。だから親の体は泥だらけです。

ある人が「写真を撮るならは羽がきれいな冬がいいよ」と言っていたのですが、その人は外見しか見ていないんですね。なぜ親が飛ばないかというと、ヒナをキツネやカラスから守るためにです。その内面の美しさに気付けるようにならないと人間は幸せになれないと思います。

（みやざき中央新聞 2018年5月28日 第2743号 「安藤誠の世界3」より）

今年の夏も暑くなりそうですが、保護者の皆さん、地域の皆さん、今後とも山之口中生を温かく見守っていただきますようどうぞよろしくお願ひいたします。